

308) 夢を追いたい

美しい笑顔にも	かすかなる憂いあり
優しげな瞳にも	どことなく陰がある
過ぎし日の哀しみを	ひきずって生きるより
明日のため僕たちの	愛だけを信じよう
ただ君だけを腕に抱きしめ	子供の頃の夢を追いたい
いつか見たあの星を	もう一度がさがそうよ
あの中の倅せに	きっとまた会えるから
寂しさに負けそうな	今日の日を超えたなら
新しいよろこびが	いつの日かやってくる
子供のころの無心になって	パステルカラーの夢を追いたい
タンポポの旅立ちを	ただひとり見送った
空を飛び地におりて	根を張って生きてゆく
荒れ地でも砂地でも	年を経て花になり
運命のいたずらに	逆らって実を結ぶ
小さな芽から花が咲くよに	少年時代の夢を追いたい
風が吹き夏は去り	花は散り冬はゆき
他愛ないひとときの	ジェラシイが遠ざかる
倅せはいつだって	めぐり来る季節のよう
哀しみの過去を捨て	明日のため夢を見る
君と二人ですべてを忘れ	夢の続きを追いかけてたい

→